

第12回 学術実践報告会 アンケート報告

アンケートをいただいた皆様 ありがとうございます。

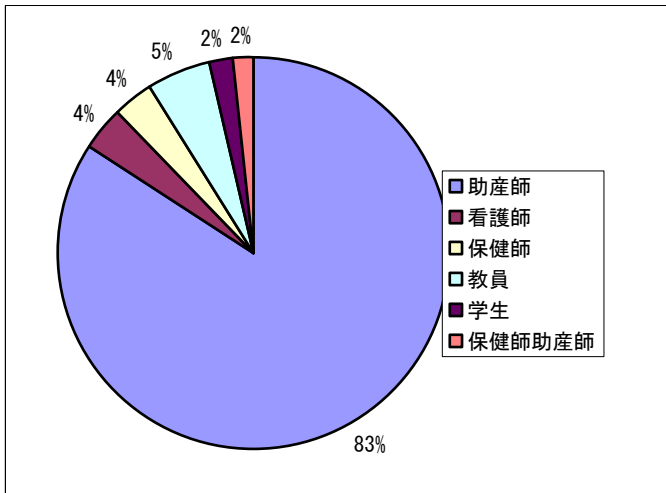
おかげさまで、第12回 学術・実践報告会も有意義な会となりました。

日本母子ケア研究会 会長 伊東厚子

参加者 105 名 アンケート回収 57 名分

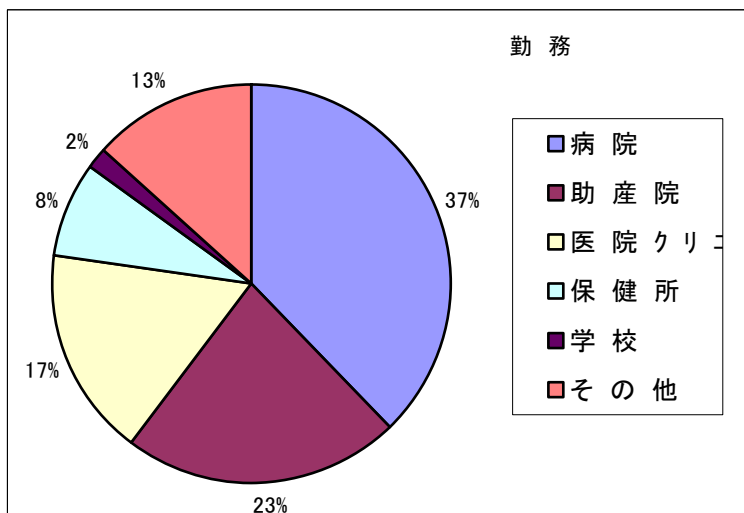
【参加者の内訳について】

参加者は、助産師 83%、看護師、保健師それぞれ 4%でした。



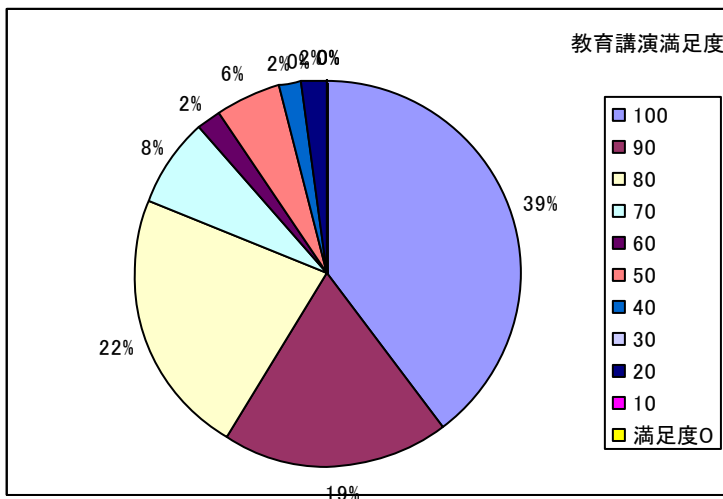
【勤務先について】

勤務先は、病院勤務 37% 助産院 23% 医院クリニック 17%でした。



【教育講演について】

満足度（半数以上が満足度 90%以上と回答）

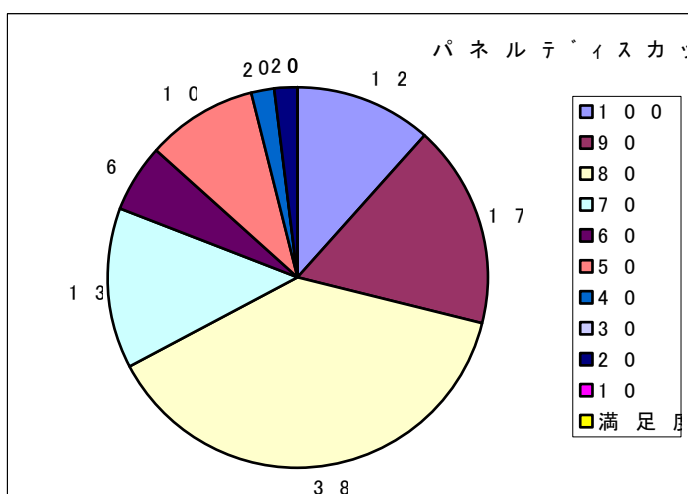


【教育講演で参考になったこと興味を持ったことなど】

- ・ 久々に先生の話聞いてエネルギー満タンです
- ・ 心に響く内容だった。これから私の指針になりそう
- ・ 子供の心のあり方、家族、周りの環境の役割 興味深かった。
- ・ 先生の本を読んでみようと思った
- ・ 先ず母を大事に 家族基盤の夫婦に焦点を当てた子供の安定はとても参考になった
- ・ 小児精神科医である先生のご講演は経験に基づいたもので、とても参考になった
- ・ あらためて来所される母子に対する看護者としての姿勢を考えさせられた。
- ・ 母子をやさしく包めるよう看護の視点を深めていきたい
- ・ すべての母乳育児・母子ケア・夫婦・親子人とのかかわりに通じることであることを再認識した。もっと人と向き合うことが必要・大切であることも。
- ・ 「情報過多社会の中での子育て」私たちは羊水にならないといけないと強く受け止めた
- ・ 母と子への接し方、母の精神状態と子供の発達障害との関係、育児不安へのアプローチ
- ・ 胎児や赤ちゃんは母親と家族の関係性も察知しており母の身体・精神状況が大切であるということ

【パネルディスカッションについて】

満足度（半数以上が満足度 80%以上と回答）



パネルディスカッションの全ての事例について、「興味をもった」「参考になった」「日頃の疑問解決する助けになった」など、好評価を多数頂きました。しかし、もっと深く詳しく学びたかったというご意見や感想も聞かれた。

【今後の学術・実践報告会で講演して欲しいテーマ・講師】

母乳トラブル 食生活からの母乳トラブル ベビーの反応と母の食生活の影響
乳頭混乱を起こしてしまったケースの対処法 痛みと授乳 白斑の治し方
舌癒着症 胎内記憶 卒乳後の乳房ケア イトウテルミーと母乳育児効果
母乳分泌促進 乳腺炎 新生児・乳児の泣きについて 震災と母乳育児
放射能汚染と母乳育児 自宅でできる子供の手当て 産褥鬱 自閉症
大人になりきれない親の子育て支援 信田さよ子さんの話
渡辺久子先生の講再度聞きたい

その他、

技術的なことを学ぶ講習会開催などの要望もありました。

実践報告会会場について、東京駅近くや、地方への要望もありました。

渡辺先生のご講演は大変素晴らしく、先生から多くのことを学ばせて頂きました。講演後の質疑応答が40分も超過したにも拘らず、殆どの参加者が渡辺先生のお話を聞き入っていらっしゃる様子に、中断をしていただくことを止め十分にお話をして頂くこととしました。予定時間が延長し、午後のパネルディスカッションの時間が短くなってしまいました。多くの参加者の皆様からは、渡辺先生のお話の時間延長について好意的な感想が得られていました。しかし、教育講演が時間延長したこと、それによってパネルディスカッションが短くなってしまったことに不満の声もありました。大変申し訳ありませんでした。

頂いたアンケートを生かし、次年度も、皆様のご要望やご期待に沿えるような、学術・実践報告会にしたいと思います。

ホームページ担当 百合はるみ